

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成26年10月16日 (2014.10.16)

【公開番号】特開2013-238471(P2013-238471A)

【公開日】平成25年11月28日 (2013.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-064

【出願番号】特願2012-111178(P2012-111178)

【国際特許分類】

G 0 1 N 30/80 (2006.01)

G 0 1 N 30/26 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 30/80 F

G 0 1 N 30/26 N

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月1日 (2014.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

なお、上述の供給流路 1 5 上に設けられた二方切替バルブ 1 7 には、希釈流路 1 9 が接続されている。前記二方切替バルブ 1 7 は、送液ポンプ 1 6 で吸引した液体をトラップカラム 2 1 又は希釈流路 1 9 のいずれに流すかを選択的に切り替えるものであり、その e ポートには送液ポンプ 1 6 から延びる配管（すなわち供給流路 1 5 の上流側部分）が接続され、f ポートには第一ニードル 1 8 に至る配管（すなわち供給流路 1 5 の下流側部分）が、g ポートには希釈流路 1 9 の一端が接続される。希釈流路 1 9 の他端は、第二ニードル 3 1 の近傍に設けられた T 字型ジョイント 3 5（図 2 では簡略化のため図示を省略している）を介して配管 3 2 に接続されており、これにより該希釈流路 1 9 を流れてきた液体（すなわち希釈液）を配管 3 2 内に流入させることができるようになっている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

その後、分取ヘッド 3 7 を更に上昇させていくと弾性部材 3 3 が伸長していき、これに伴って分取ヘッド 3 7 内の配管 3 2 が開口 3 7 a から引き出されていく（すなわち、吐出ノズル 3 4 の先端から分取ヘッド 3 7 の底面までの距離が長くなっていく）。そして、分取ヘッド 3 7 が所定の高さに到達した時点で弾性部材 3 3 の圧縮が解除されるため、そこから更に分取ヘッド 3 7 を上昇させることにより吐出ノズル 3 4 の先端が上昇し始め、最終的に回収容器 4 2 から除去される。すなわち回収用流路の出口と回収容器 4 2 との接続が解除される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

